

とんだばやし市 議会だより

No.263

9月定例会号



金剛きらめきイルミネーション
(令和6年撮影)

令和7年第4回(12月)定例会の予定

12月	2日	火	本会議(議案上程)
	10日	水	本会議(一般質問)
	11日	木	
	12日	金	本会議(議案質疑)
	16日	火	総務文教常任委員会
	17日	水	建設厚生常任委員会
	18日	木	予算決算常任委員会
	22日	月	本会議(委員長報告)

※いずれも午前10時開会予定

contents

一般質問	2~7
第3回定例会の概要	8
常任委員会の審査概要	9
6年度決算の審査概要	10~11

富田林市議会

検索

www.city.tondabayashi.lg.jp/site/gikai





こどもの権利条例の制定に向けた進捗状況等を聞く



とんだばやし 未来
辰巳 真司



問 こどもの権利条約にある、「生命、生存および発達に対する権利」「差別の禁止」「子どもの意見の尊重」「子どもの最善の利益」を踏まえ、特に権利主体である、こどもたちの声をどう反映するかが大切だと思うが、市の見解を聞く。

答 昨年十月に実施したこどもアンケート調査等の結果を踏まえた条例素案等について議論を行う。また、一般市民及びこどもを対象としたパブリックコメントなどを実施し、今年度末の条例制定をめざして取り組んでいく。

反映し、こどもの権利条例骨子案を作成した。さらに各種調査等の結果を踏まえた条例素案等について議論を行う。また、一般市民及びこどもを対象としたパブリックコメントなどを実施し、今年度末の条例制定をめざして取り組んでいく。

市立幼稚園・保育所のあり方基本方針認定こども園化計画（素案）について

問

認定こども園の具体化に伴い、園までのアクセスや通園バス運用の問題などの意見を受け止め、当事者の子どもや保護者の不安解消策をしっかりと示すことが大切である。

市立幼稚園では、こどもたちの特性に合わせた現場の取り組みや、発達に課題のあるこどもたちの受入れなどの多くの素晴らしい実践を現場で積み重ねており、こどもたちに寄り添う、優しい取り組みとするために何ができるのかを考えることが必要だと思うが、市の見解を聞く。

答

幼稚園・保育所で勤務する職員から広く意見を募集するなど、こどもたちのために、より良い



運営体制の構築を目指している。通園バスの運行については、こどもたちに寄り添う運行基準や運用方法を検討していく。また、市立幼稚園では、一人ひとりのこどもの違いを受け止め寄り添った支援などを充実してきた。市立幼稚園がこれまで培ってきた理念や取り組みは継続できるように、こどもたちに寄り添った議論をすすめる必要があると考えている。

朝食習慣を獲得するための子ども朝食堂について



自民・笑顔の会
今城 克久



問 本市の小学校での子ども朝食堂の導入に向けて、各小学校に設置されている『みなよる』を活用し、調理をしないパンやおにぎりを主としたメニューを提供すれば、実現できると考える。泉佐野市では各小学校で二十名程度の利用があるが、本市でも子ども食堂の普及や小学生の朝食習慣の獲得に向けて、実証実験と効果検証を行うことから始めていくことを提案するが、今後の導入に向けての市の見解を聞く。

答 本市の子ども食堂運営補助金は、

団体の活動を支援する制度だが、泉佐野市では委託による市の直営事業であり、本市の制度とは仕組みが異なるため、実施にあたっては、市内全校の一律実施も見据えた新たな財源や実施事業者の確保、各学校との連携が課題である。

こどもが朝から安心して食事をし、落ち着いて授業を受けられる環境が学校で整い、朝食習慣を獲得することは、こどもの学びの土台を支えることに繋がり、本市の子ども食堂の充実にも寄与するため、実証実験も含め、学校との連携や、実施を希望する団体等への支援など様々な方策について、先進市の取組事例を調査研究していく。

金剛ふるさとバスの赤字の軽減について



大阪維新の会
寺内 裕介



問 金剛ふるさとバス全体の運行経費約三億六千九百万円の内、運賃収入は約一億六千七百万円であり、不足分は税金を財源とする四市町村からの負担金等で補填しており、赤字軽減に努めなければならぬ。

それぞれの自治体が部分最適を追求するのではなく、全体最適を確立することが最も効率的ではないか。全てのコミュニティバスを統合し、再構築してはどうか。また、持続可能な地域公共交通の運営には、より適正な運賃へと見直すべきではないか。加えて、平

日の通勤通学利用以外の新たな利用層の開拓として、発売予定の一日フリー乗車券に係る情報提供ツール等の整備、平日昼間割の実施、シニア割等を実施してはどうかと考えるが、市の見解を聞く。

答

四市町村が負担する運行経費の赤字補填額は非常に大きな財政負担である。すべてのコミュニティバスの統合は、慎重な議論が必要である。運賃改定については、協議会に新たな分科会を設置し協議が必要なものと考ええる。一日フリー乗車券の利用状況等を踏まえながら、平日昼間割引や高齢者限定の割引企画など多様な利用促進策を検討したい。

国の動向に応じた中学校給食無償化の拡大について

問

本年二月二十五日、自民党・公明党・日本維新の会の三党は国会において、給食の無償化について、令和八年度にまでは小学校から開始し、中学校でもできる限り速やかに始めることで合意した。

答

そこで、仮に小学校給食が無償化となり、さらに来年度も国の重点支援地方交付金のような学校給食に充当することができるとした場合、現在、本市は国の交付金を活用して小学校給食一学期分と中学校給食一人当たり二十食分を無償化としているが、中学校給食の無償化を拡大すべきではないか。市の見解を聞く。



無償化を本格的に実施するには、経常的に多額の財源を要することから、財政的にも困難な状況となっている。仮に小学校給食が無償化となり、さらに来年度も国の重点支援地方交付金のように学校給食に充当することができるとした場合、現在の中学校給食一人当たり二十食分の無償化を拡大することについて、検討が必要になるものと考ええる。

市内観光の充実に向けて超小型モビリティの導入を

問

富田林の観光資源は市内に点在しているため、公共交通だけでは十分に回遊性を確保できないという課題がある。小回りが利き、狭い道でも安全に走行でき、二酸化炭素を排出しない二人乗りの超小型モビリティは、課題解決策として注目されている。すばるホールなどにEVSテーションを設置し、周遊観光のため、小型モビリティのレンタル事業の実証実験から始めていくことを提案するが市の見解を聞く。

答

公共施設へのEVSテーション設置及び超小型モビリティの導入については、観光振興に寄与する可能性があるが、設置場所の有無や厳しい財政状況の中で財源の確保について検討が必要であり、さらに行政もしくは民間事業者のどこが運営主体になるのかなどの課題もある。今後は、他市での超小型モビリティのレンタル実証実験の先行事例を参考としながら、実用性と安全性、また地域経済への波及効果を踏まえ、実証実験を含めた実施の可能性について調査研究していく。



これが聞きたい！

一般質問

会派代表質問

QRコードで質問の動画が見られます。





特殊詐欺の被害防止のために



遠藤 智子
公明党



問 特殊詐欺の被害件数は全国で過去最悪を記録し、被害額も増加している。

詐欺電話の七割超は国際電話番号であり、警察署からの電話を装うケースも増加している。警察庁はスマホへの国際電話の着信を規制するアプリの利用を呼び掛けている。

答 本市では、特殊詐欺撲滅宣言に基づき、「啓発活動の強化」、「地域連携の強化」、「自主防犯意識改革の促進」の三つの柱を掲げ、啓発ポスターの掲示や、市内のATMに音声発生装置及びミニのぼりの設置などの施策を展開し、撲滅に向け注力している。

今後は富田林警察署とさらに連携しながら、国際電話からの特殊詐欺について、『出ない・かけない』といった簡単な対策や、固定電話・携帯電話について、それぞれの対策を記載したチラシを作成し、市庁舎や駅前での啓発キャンペーンを実施するとともに、商業施設での実施に向け、調整を進めていく。

足靴育（あしくついく）を学校教育に位置付けるために

問 子どもの足の健康は、運動機能の発達や姿勢の保持、集中力の持続などに深く関わっている。

近年、足に関するトラブルを抱える児童が増え、体力や運動能力の低下も懸念される。これらの課題に対応する教育が「足靴育」である。大阪市立大江小学校では、足型や足のサイズを定期的に測定し、その結果を踏まえて運動や指導を組み合わせて行うことで、大きな効果をあげている。本市においても身体測定の際に足の計測を導入し、子どもたちの健康づくりや適切な靴選びに役立てることが有効ではないか。

答 大江小学校での足靴育は、歩行や走行時の衝撃をうまく吸収できない扁平足や、猫背の原因にもなる浮き指等の子どもの足に関わる課題を解消するための先進的な取り組みである。

本市教育委員会としては、学校現場に足靴育についてその趣旨を周知するとともに、効果的な取り組み方について、学校現場の協力も得ながら検討していく。



認定子ども園化計画について



坂口 真紀



問 保護者説明会やパブリックコメントを経ても具体案は乏しく、多くが「検討中」にとどまっている。教育・保育内容を踏まえ、園選びを行うための時間の確保が必要だが、具体的なスケジュールをどう設定し、公表するのか聞く。又、内容と連動した整備をどのようなプロセスで進めるのか見解を。更に、工事期間中の安全対策についても不安の声が多く、保育園を対象とした理由と具体的な安全対策について聞く。

答 令和十年四月の六園こども園化に

向け、「教育保育」「施設整備」「総務」の三部会を設置し十二名体制で検討を進めている。教育保育部会では内容や研修、人事交流を検討、令和九年度当初に周知できるよう進めている。施設整備部会では令和八年度末設計完了、令和九年度中工事完了させるスケジュール感で検討している。総務部会は勤務条件や条例整備を協議しており、各部会間密に連携し、効果的な施設整備を進めていく。保育所を対象とした理由は利用ニーズや施設面での利点、各市立幼稚園を公平に扱う観点、施設整備負担を総合的に判断した結果である。工事中は代替保育室設置や安全確保に努める。

介護予防・健康ポイント事業 「あるこっと」について



京谷 精久

問

参加者のモチベーション維持や参加の動機付けのため、社会参加と仲間づくりをキーワードとする「あるこっと」独自のイベントなどや、市内の地域観光資源をアプリによりウォーキングなどで結び、参加者が楽しんで仲間づくりができる事業展開を要望するが、市の見解を聞く。

また、今後の事業展開に変更がある場合、事業者や医師会、大学等のこれまでの協力体制を活かした事業展開などの検討や、移行時期、準備期間の十分な考慮が必要と考えるが、本市の見解を聞く。

答

今年度は、本市において、ウォーキングイベントを、錦織公園で十一月に開催する予定である。

イベント終了後も、観光スポットをめぐるデジタルスタンプラリーを設定しアプリの活用を促し、「あるこっと」参加者がさらにウォーキングを楽しむきっかけにしたいと考えている。本市では、今後も、多くの方がウォーキングに取り組む機会を通して、社会参加や介護予防につながるよう、イベントの結果や事業評価及び分析結果を踏まえ、今後の事業展開の方向性が定まるまでの「あるこっと」事業の継続実施も含めて、充分検討していきたいと考えている。

障がい者千人雇用の実現に向けて、 農福連携の推進について



岩崎 哲也

問

本市が掲げる障がい者千人雇用は、総社市を参考に進められているが、情報発信が弱く、雇用実績も市民に見えにくい状況にあり、一般就労者と福祉的就労者の人数を明確にし、就労形態別に公表すべきであると考えている。さらに、一般就労者の雇用数を増やすための施策について、市の見解を聞く。

加えて、規格外農産物を活用した農福連携や加工施設を有するサバードファームと就労支援事業所の連携による加工・販売事業を進め、規格外品を使用した加工品開発の取り組みは、

新たな地域特産品の創出につながるが、市の見解を聞く。

答

本市の取り組みについて、市民に分かりやすく伝えることは重要であり、障がい者の就労者数の公開について、適切な方法を検討する。

また、就労と雇用環境の推進を図るため、障がい者雇用会議を設置しており、新たに雇用主関係者や商工会など、雇用主関係委員の所属団体等を通じて、企業へのアプローチを実施し、障がい者の一般就労の推進を考えている。

さらに、サバードファームに対して、加工施設での規格外品の活用と障がい者就労に向けて働きかけを行っていく。

地域経済の要である大手銀行が 富田林駅から移転することについて



山本 剛史

問

今回、大手銀行が富田林駅から移転された。銀行は、経済の中心的な役割を担い、市民生活や地域経済に不可欠な存在だが、移転により、企業の融資や運転資金の調達が困難になると、地域経済が縮小し、企業の成長に悪影響をもたらすことが懸念される。また、市民の利便性も低下し、市民生活にも多大な影響を与えると考える。

銀行が移転すること、および移転に関して、先方と交渉を行い、引き留めや、引き留めするための市の提案を行ったのか、見解を聞く。

答

今回の移転に関する事前相談は本市には無く、結果として引き留め交渉は実施できていない。

今後は、大手銀行に限らず、民間事業者の他の自治体への移転動向を早期に把握できるよう、移転等の判断に至った理由、背景についても情報収集に努め、可能な範囲で働きかけを行うとともに、今年度実施の企業実態調査の分析結果も活用し、産業施策の実効性を一層高めていきたいと考える。

また、地域の利便性や魅力の向上が急務であることを示す事例として、市として現状を真摯に受け止め、庁内で危機感を共有するとともに、まちの魅力向上に注力していく。

これが聞きたい！

一般質問

個人質問

QRコードで質問の動画が見られます。





認定こども園化計画について



寺尾 千秋

問 市立保育園は、児童福祉法においては、「保育を必要とする場合において、当該児童を保育所において保育しなければならぬ」という公的な保育の責任が市にあることが明記されている。

市立保育園六園すべてで三・四・五歳児クラス各十人ずつ計百八十人もの保育の定員を縮小することとは、公的保育の縮小につながり、「こどもまんなか社会」とはかけ離れた計画であると考えるが、市の見解を聞く。

答 児童福祉法第二十四条の第一項の

規定に、保育所という種別が示されているが、市立保育所に限定したものではないと解釈している。

加えて、同条第二項には、保育所のほか「認定こども園又は家庭的保育事業等により必要な保育を確保するための措置を講じなければならぬ」と規定されているので、公民を問わず、保育ニーズに対応した保育の受け皿を確保することが必要であると考えている。

本市としては、公的保育の責務は認識した上で、今回の市立保育所の認定こども園化に伴う定員縮小については、保育の受け皿が不足することがないように、民間保育施設も含めて適切な対応に努めていく。

小学校児童クラブに関する保護者の声について



酒本 千紘

問 近年、共働きやひとり親家庭の増加に伴い、児童クラブの役割が一層重要となる中、保護者からも児童クラブに関する様々な声を伺っている。まず、長期休業中における昼食提供について、宅配弁当等の活用を検討してはどうか。次に、夏休みのみの利用の導入可能性について聞く。さらに、児童クラブでは依然として電話連絡のみが基本となっているため、欠席連絡等に活用できるアプリを導入してはどうか。最後に、児童クラブではWi-Fi環境が整っていないため、タブレ

ットを使った宿題等に取り組めるよう、Wi-Fiを設置してはどうかと考えるが、市の見解を聞く。

答 長期休業中の宅配弁当等の活用及び夏休みのみの利用については、保護者負担の軽減につながることを認識しているため、引き続き研究する。また、小学校では欠席連絡等に活用できるアプリを導入している状況をふまえ、同じアプリを活用し児童クラブへの欠席連絡が可能となるよう、今後調査研究していく。最後に、児童が児童クラブにおいても宿題ができる環境整備は重要であると考えているため、今後も学習環境の充実に向けて取り組みを進めていく。

実施計画・予算編成・行政評価の一元管理と、透明性の高い行財政運営を！



伊東 寛光

問 本市は、実施計画は政策推進課が、予算編成は財政課が、行政評価は行政管理局が担当している。これらは市政運営の根幹であり、密接な連携が求められる。

しかし、三課の連携には、エクセル等で作成された資料が使用されており、一元管理されていないため、充分な連携が図られていない。

この点、愛媛県では、政策立案から予算編成、執行、決算、行政評価までを一元的に管理するシステムを導入している。本市も先進事例を参考に、導入を検討してはどうか。

答 本市では、情報共有や会議で連携を図っているが、手法には改善の余地があると認識している。各プロセスを一元

管理することは、作業の効率化に加え、事業のビルド&スクラップ促進等のメリットが見込まれ、先進自治体では、システムで、効率的な一元管理が行われていると聞き及んでいる。新たなシステムの導入は、導入や運用に経費が発生するため、実施計画等を通じてその費用対効果の十分な精査と判断が必要となるが、効率的・効果的で透明性の高い行財政運営に向け、提案いただいているシステムの活用をはじめとした連携手法を、引き続き調査研究する。

市立幼稚園・保育所の認定こども園化計画（素案）について



西川 宏



問 大阪府全体及び近隣市の市立幼稚園の現状について聞

答 政令指定都市と町村を除く三十一市の市立幼稚園数は、今年度当初で九十三園である。そのうち本市は十園を占めている。府内の多くの市において市立幼稚園は減少傾向にあり、認定こども園化されている。

問 認定こども園のタイプと本市の方針を聞く。

答 本市では幼保連携型認定こども園を基本とするが、富田林保育園は既存施設の園庭の面積基準

により、保育所型認定こども園を予定している。いずれのタイプも、市立の幼児教育・保育の質を保障する観点から、運営内容などに違いはない。

問 こども園化の今後の流れについて聞く。

答 計画の策定期は、十月中頃から始まる新年度入園申込み間に合うようにできるだけ早い時期に策定できるよう努める。また、施設整備については、令和十年四月の開園を目指し、遅くとも令和九年度中に工事を終わらせるため、令和八年度末までに設計を完了させるスケジュール感で進め、令和九年度当初にはお知らせできるようにする。

富田林市議会からのお知らせ

市議会のライブ中継では字幕表示が選択可能になりました

市議会では、議場の傍聴席に、本会議での発言内容をAI（人工知能）音声認識システムにて、音声を取りアルタイムで字幕表示するモニターを設置しています。

また、議会映像ライブ配信の映像では、字幕表示の選択が可能になりました。

耳の不自由な方や聞こえ方に不安がある人にも傍聴しやすい環境を整備することを目的に導入しており、多くの方が傍聴しやすい議会を目指しています。

ぜひ議会の傍聴にお越しください。

インターネットライブ中継画面
※録画配信は対応してません。



アンケートの回答をお願いします



議会だよりについてのアンケート



議会映像ライブ配信の字幕表示についてのアンケート



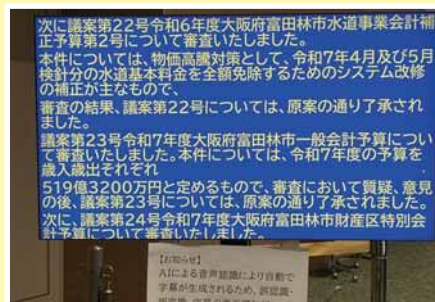
QRコードを読み込み、スマートフォン等でご回答いただけます。市ウェブサイトにも、掲載しています。

（ご注意）AIによる音声認識により自動で字幕が生成されるため、誤認識・誤変換が起きることがあります。

また、通信環境等により、字幕表示が遅れたり、字幕が切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

※録画配信には、字幕表示は対応しておりません。

傍聴席モニター



これが聞きたい！

一般質問

個人質問

QRコードで質問の動画が見られます。



人事案件

市議会では、次の方の任命について、全会一致で同意しました。

▼教育委員会委員
大和 彩 氏

条例案件

▼市税条例の一部改正

国の法改正に伴い、公示事項のウェブサイトにへの表示や、市民税における特定親族特別控除の創設、市たばこ税の見直しのための改正が主なものです。
(詳細は課税課まで)

▼行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

地方公共団体情報システムへ住登外者(じゅうとうがいしや)宛名番号管理機能を実装し運用するにあたり、個人番号の独自利用を行う事務等として、条例に定める必要があるため、所要の改正を行うものです。
(詳細はデジタル推進室まで)

▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

昨今の賃金上昇において、本市の委員報酬は長年改定されておらず、近隣市と比べ低い水準に留まるため、所要の改正を行うものです。
(詳細は人事課まで)

▼都市公園条例の一部改正

金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画に基づき、公園全体をリニューアルすることに伴い、金剛中央グラウンド及びテニスコート、青少年スポーツホールを廃止するものです。
(詳細は生涯学習課まで)

▼児童館条例の一部改正

児童館の三階体育館除却及び一階耐震補強工事実施の間、児童館の各事業を旧人権文化センター複合施設、若松町第三集会所及び市民会館において行うため、児童館の位置を変更し、工事完了後、児童館の位置を元の場所へ変更するものです。
(詳細は児童館まで)

補正予算

一般会計

一般会計補正予算第二号は、物価高騰を受けた市民及び事

業者の負担軽減のため、水道基本料金二ヶ月間の半額減免の実施や、認知症高齢者グループホームの大規模修繕に対する補助金、本年四月の人事異動に伴う人件費の補正および令和六年度事業確定に伴う精算金の補正が主なものです。

特別会計

特別会計の補正予算は、本年四月の人事異動に伴う人件費の補正や令和六年度事業確定に伴う精算金の補正が主なものです。

企業会計

企業会計の補正予算は、本年四月の人事異動に伴う人件費の補正です。



決算

九月定例会では、令和六年度一般会計、特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の決算認定議案が提出されました。決算額については、次表のとおりです。

令和6年度 会計別決算総括表					
(単位：千円)					
会計名称	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	4,7489,824	47,027,910	461,914	27,998	433,916
特別会計	財産区特別会計	121,750	121,750	0	0
	国民健康保険事業特別会計	11,810,767	11,805,299	5,468	5,468
	介護保険事業特別会計	12,306,670	12,253,790	52,880	52,880
	後期高齢者医療事業特別会計	2,516,886	2,444,492	72,394	72,394
	南河内広域行政共同処理事業特別会計	188,779	181,845	6,934	6,934
	特別会計合計	26,944,852	26,807,176	137,676	137,676
合 計	74,434,676	73,835,086	599,590	27,998	571,592
	収 益	費 用	差 引 額		
水道事業会計	2,434,585,304	2,311,835,856	122,749,448		
下水道事業会計	2,958,716,144	2,934,412,787	24,303,357		



各委員会で 詳しく審査

都市公園条例の一部
改正

問 金剛中央グラウンドは、多くの団体が利用しているが、このグラウンドを廃止することや、代わりとなるグラウンドの有無などについて、どのように周知してきたか。

答 金剛中央公園全体のリニューアルについては、令和六年三月策定の金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画の策定に向けた過程で、丁寧な説明を行っている。

代替グラウンドは、金剛東グラウンドや、総合スポーツ公園、石川河川敷の各グラウンドなどを想定しており、利用者からの相談には、丁寧な対応を心掛けています。

問 津々山台ゲートボール場はゲートボール以外の軽スポーツでも利用可能だが、金剛中央グラウンドの代替場所としてグラウンドゴルフの団体が利用することはできるのか。

答 津々山台ゲートボール場は、グラウンドゴルフの団体が利用することも可能である。

なお、新しく整備する金剛中央公園には、グラウンドゴルフも楽しめる多目的広場の整備を予定している。

問 金剛中央グラウンド、金剛テニスコートの直近の稼働率について聞く。

答 令和六年度実績の稼働率は、金剛テニスコートは、平日四十五パーセント、休日六十四パーセント、中央グラウンドは、平日四十四パーセント、休日五十七

パーセントである。



問 今回廃止となるスポーツ二施設は、多くの人が利用している。今後の市の対応について聞く。

答 金剛テニスコートを利用していた人には、津々山台テニスコート、金剛東テニスコートなどの利用を想定している。

また、金剛中央グラウンドを利用していた人には、金剛東グラウンドなどの利用を想定している。

なお、今回の施設廃止により、他のスポーツ施設で、一部時間帯で予約が重複する可能性もあり、

ご理解いただけるよう丁寧に対応していきたいと考えている。

一般会計補正予算 (第二号)

問 防災対策施設整備事業のＪアラート受信機の更新理由と更新にかかる財源の内訳について聞く。

答 更新理由は、国において地域単位で細分化して情報を配信できるようにするためのシステム更改が予定されており、それに対応した受信機への更新を行うものである。

また、更新にかかる財源は、端数をのぞき、全額「緊急防災・減災事業債」の活用を予定している。

なお、「緊急防災・減災事業債」については、元利償還金の七十パーセントが交付税措置されるものとなる。

問 新庁舎建設事業

業の設計等委託について、内容を聞く。

答 昨今の急激な物価高騰の影響を鑑み、工事受注者から市工事請負契約約款に基づき、工事請負代金の増額変更の申出があり、工事施工費用の再積算を行うための委託料である。



問 水道事業負担金事業の水道基本料金の半額減免は、いつから開始するのか。

答 システム改修など、事業実施に必要な準備作業を速やかに依頼し、本年十二月・来年一月検針分を対象として事業実施の予定である。

議会用語の Q&A

委員会とは、何をするとところ？

委員会とは、本会議で決める前に、何人かに分かれて詳しく細かい点まで話しあつて案件を審査する機関のことです。

富田林市では専門の委員会として、総務文教、建設厚生、予算決算の三つの常任委員会があります。議員は、この常任委員会の一つ以上に入ることになっています。



これが聞きたい！

委員会審査

QRコードで質問の動画が見られます。



決算審査

決算関係議案については、予算決算常任委員会に付託し、今期定例会中に審査が行われました。

ここでは、審査における主な質疑をとりあげます。

一般会計

歳入

問 学校園給食負担金の直近三年間の徴収率は下降傾向だが、改善に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

答 引き続き、督促や催告、支払督促等の法的手続きを利用した債権回収や、コールセンターの活用促進とあわせて、いわゆる焦げ付いた債権の管理についても、取り組んでいく。

問 資源ごみの持ち去りに関する条例の制定について、進

捗状況を聞く。

答 早期の条例化に向けて、大阪府内の全自治体に対して、条例の制定状況や対象品目、罰則等についての調査を行い、調査結果や先進事例を基に、弁護士への相談や関係機関への意見照会などを行いながら、本市の現状を踏まえた効果的な対策について検討を進めている。



歳出

総務費

問 防災対策事務の避難誘導看板につ

いて、紫外線の影響等により劣化しているものもあるが、市の対応を聞く。

答 本市では令和五年度に調査を行い、劣化の激しいものから、順次更新を進めている。



問 地域別防災訓練補助金の内容について聞く。

答 市内小学校校区単位で、校区内の町会・自治会等で構成される団体が実施する防災訓練に対し、その運営費用について、一団体につき一年度一回限り、十万円を限度として補助している。

衛生費

問 予防接種事業について、新型コロナウイルスワクチン接種者数は、累計何人か。

答 本市において、特例臨時接種により新型コロナウイルスワクチンを一回以上接種した人の累計は九万一千五百九十人である。また、令和六年度に六十五歳以上の人を対象に実施した定期接種により接種した人の累計は四千五百二十一人である。

民生費

問 民間保育所等運営費負担金事業では、民間保育施設に対し、運営費が支払われているが、運営費を支払う仕組みを聞く。

答 運営費については、保育施設の種別や定員、児童の年齢等により公定価格、いわゆる基本分単価

がある。その他として各種加算単価もあり、民間保育施設に対しては加算分も含めた運営費を支払っている。

問 学童クラブ事業について、避難経路や避難先などの災害時の対応を聞く。

答 各学童クラブでは、学童クラブ運営マニュアルに基づき、防災や緊急時に対応する安全計画を個別に作成している。また、子どもたちに防災意識を持ってもらうため、毎年、避難訓練を実施している。



問 見守りおむつ

定期便事業について、保育所に入所中等の情報共有は配達員との間でどのように対応しているのか。

答 二回連続で置き配が続いた場合、保育所等の入所状況を市で確認し、必要に応じて毎月の連絡会議で共有することで、こどもの見守りが日常的にできていく世帯として認識し、置き配継続等の対応の柔軟化につなげるなど、随時調整・対応している。

問 見守りおむつ定期便事業について、同じ役割を持つ、ママサポとつぴーずとの連携について、どのような意見交換をしているのか。

答 両事業の担当課であるこども政策課が、それぞれ、月に一回程度連絡会議を行っている。

連絡会議では、訪問で気になった家庭



の状況を把握し、対応内容を情報共有し、さらなる支援の方策がないかなど、検討・協議している。

それら両会議の運営と、子育てコンシエルジュも在籍することでも政策課が全体把握・仲介すること、案件に応じて柔軟に情報連携等ができる体制としている。



農 林 業 費

問 ゴム井堰の機能診断結果から、損傷状況に応じた工事方法を行うことが大切である。今後、改修工事を進める予定の井堰について聞く。

答 健全度ランクが二の下深井堰は、地元水利組合からの更新要望があり、令和六年七月に、大阪府と本市、水利組合による現地確認が行われた。次に、健全度ランクが三の上一之井堰についても地元水利組合からの補修要望を聞いている。



問 欠田井堰補修

工事を行ったが、ゴム井堰の耐久年数はどれくらい持つのか。

答 令和二年度に大阪府が実施したゴム井堰の機能保全計画によると補修工事を行うことで、健全度が十年間延長され

たと判断した。耐久年数は、十年以上と考えている。

商 工 費

問 観光振興事業のうち観光ツアープラン造成事業の現在の状況を聞く。

答 観光ツアープラン造成事業については、販売に向けてモニターツアーから見えた課題を踏まえたコースの販売募集が開始されたところで、ツアー設定期間

土 木 費

問 四市町村が運営する地域公共交通活性化協議会のあり方と今後について、見解を聞く。

答 協議会のあり方と今後については、当該協議会で協議することになるが、昨

年度に策定した金剛ふるさとバス沿線等地域公共交通計画に基づき、経費削減と運賃収入増加の両面で赤字運営の課題解決に向けて協議会にて協議を重ねて取り組んでいく。

問 住宅取得転入促進事業の若者・子育て世代転入促進給付金について、当初予算額に対し、決算額が百三十万円増額した理由を聞く。

答 若者・子育て世代転入促進給付金の給付対象の条件は、前年度の四月一日以降に所有権保存登記又は所有権移転登記が完了した住宅である。通常であれば、当該年度に登記が完了したものは次年度でも給付金の申請ができたが、令和六年度で同給付金が終了するため給付金の申請が多くなり、増額したものである。

消 防 費

問 本市の女性消防団の概要について、聞く。

答 正式名称は、富田林市女性消防団で、本市消防団に置かれる組織である。令和二年十月一日に発足し、現在十二人が加入している。

教 育 費

問 小学校管理事務について、各校の特別教室のエアコンの設置状況を聞く。

答 各校の音楽室、パソコン室、図書室にはエアコンが整備されているが、その他の理科室、家庭科室、図工室などの特別教室は未整備の状況である。

問 学校給食管理運営事業について、給食調理で出た廃油の売払金の取り扱いはどうしているのか。

答 廃油の売払金

については、小学校の新一年生に配布する「マイはし マイスプーン」の購入、学校閉鎖や学級・学年閉鎖により食材費の補填が必要となったときに支出している。

問 図書館資料整備事業の備品購入費について、本はどのような基準で購入しているのか。

答 本市図書館では、図書館資料収集方針に基づき、市民の資料要求に沿った資料収集を、各分野それぞれの担当者が、週に一度、選書会議を開催し選定を行い、購入している。





議決結果一覧表 (全会一致のみ)

	件 名	結 果
条 例	<ul style="list-style-type: none">●行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正●職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償支給条例の一部改正●市税条例の一部改正●児童館条例の一部改正●都市公園条例の一部改正●移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
補 正 予 算	<ul style="list-style-type: none">●令和7年度一般会計補正予算(第2号)●令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)●令和7年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)●令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)●令和7年度南河内広域行政共同処理事業特別会計補正予算(第1号)●令和7年度下水道事業会計補正予算(第2号)	 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
そ の 他	<ul style="list-style-type: none">●教育委員会委員の任命●令和6年度健全化判断比率の報告●令和6年度資金不足比率の報告●債権放棄の報告●令和6年度下水道事業会計剰余金の処分等●和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分報告	同 意 報告受理 報告受理 報告受理 原案可決 報告受理

このほか、令和6年度決算認定が8件ありました。

編集後記

師走に入り、年の瀬に向けてあわただしい日々が続くころですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号は、九月定例会で行われた一般質問や一般会計決算の常任委員会における質問などを中心に掲載しました。

今後も、より皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

お気付きの点、ご意見等ございましたら、お気軽に議会事務局までお寄せください。

【☎(二五)一〇〇〇

内線九四一九】

